街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第162号
平成２８年(２０１６)９月発行
発行・事務局
◎ 荏原第一地域センター ◎
小山 3-22-3 (〒142-0062)
tel ３７８６－２０００
fax ３７８６－５３８５

「大祓、形代流し」に参加して

7月4日(月)、三谷八幡神社前でバスに乗車。石井規之総代会長はじめ、20名が参加。8時出発。五反田から山手トンネルを抜け、東名高速に入った。

途中二ヶ所でトイレ休憩をしたが、順調に進み、10時15分頃には、箱根芦ノ湖の湖尻港に到着した。車中で神社の白い半天を着込み、額に朱い日の丸と大祓の文字が入った手拭いを巻き、その真ん中に“お祓い串”なるものを差し、下車した。他の神社の氏子衆も同様の格好で三々五々集まってきた。

10時40分頃、大型の遊覧船が到着し、皆が乗り込んだ。約４００名がそれぞれ自由に席についた。私は３階にある外の甲板の最前列に、総代の飯塚さん、野田さんと共に陣取った。そして、舳先に三谷八幡神社の紫の旗を掲げた。

湖を囲む緑の山々の向こうにうっすらと雲をかぶった富士山が覗く。湖面を渡る風も心地よい。

船が箱根神社の鳥居に近づくと、そこから宮司が歓迎のお祓いをしてくれた。しばらく進むと湖岸から長く延びた船着場の中央に設えた式典会場近くに停泊した。

いよいよ62回目の形代流し儀式が始まる。挨拶のあと、当番の戸越八幡神社宮司を中心に7～8名の宮司と共に、我々も「大祓詩」という祝詞を斉唱した。

そのあと、いくつかの儀式があったが、最後に地元の皆さんから預かった形代を入れた大きな太い藁の包みを湖面に流し、いよいよ形代流しが始まった。半年間の穢れを落とし、清浄な心身で新たな半年に向かう。併せて無病息災を祈念するとの神事が厳かに行われた。私も町会各家を祈念した。

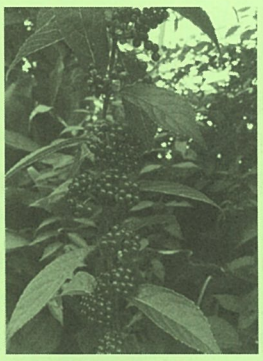
千年以上も続くという日本の伝統儀式に触れ、爽やかな感動を覚えた。そして、ふと若かりし頃、胸に響いた一句を思い出した。

「目に見えぬ　神に向いて恥ざるは　人の心の誠なりけり」と。

(荏原四丁目町会　大高一浩)

花めぐり

ムラサキシキブ・コムラサキ



秋に赤い実を付ける樹はたくさんある中で、紫色の雅な果実を付けるのはムラサキシキブ、公園や庭に植えられているのはコムラサキ(左記写真)です。

初夏に薄紫色の花を咲かせ、秋に垂れた枝に紫色の果実を付け、艶のある鮮やかな紫の実を鑑賞する植物です。

ムラサキシキブとコムラサキは似ていますが、ムラサキシキブは、実が葉の付け根辺りにまばらにでき、枝が直立に(２～３m)になります。原産は日本、中国、台湾、朝鮮半島に分布しており、名前の由来は平安時代の古典文学「源氏物語」の作者　紫式部にあやかって付けたとされていますが、定かではありません。花言葉は、「聡明・上品・愛され上手・知性・賢さ」です。

コムラサキは、実が葉の付け根より少し離れた場所に、弓のように枝をしならせ、実をびっしりと付けます。背丈は１．５ｍほどで、シロシキブという白い実を付ける種もあります。

荏原第一管内では、コムラサキを清水湯付近で見ることができますので、是非探してみてください。

(小山２丁目東部町会　山内　静子)

町で見つけた ちょっといい話

私は、荏原区民センターの図書館に本を借りに参りました。その帰りのことです。小山小学校の前まで来たら、腰が痛くなり、小学校の前のアジサイの花を見ながら腰を掛けて休んでいました。すると、スタスタと通りすぎた若い女性が小走りに戻ってみえて、「お疲れですか？飴でも食べてください」と飴をくださったのです。

そして、こちらの方が日陰で涼しいですよと教えてくださり、笑いながら行かれました。本当にありがたかったです。

日陰の方に移り、飴をおいしく頂きました。とても優しい娘さんだなと思いました。親御さんのお躾のよさをしみじみ思いました。

お名前も知りませんが、本当にありがとうございました。紙面を借りてお礼申し上げます。

(小山４丁目　久我　もゝよ)

平成28年度「まちかど」広報委員

本紙「まちかど」は、本年より2年間、各町会の次の広報委員によって企画・編集・制作されています。

小山台1丁目	谷内　真紀子
小山台1丁目東	川崎　喬子
小山台2丁目	木村　美智代
小山1丁目	河原　マサ江
小山2丁目東部	山内　静子
小山2丁目西部	髙橋　元嘉
小山3丁目	柿沼　恵子
小山4丁目	藤田　潔
小山5丁目	石井　恒男
荏原1丁目	吉田　健治
荏原2丁目	伊藤　茂実
荏原3丁目	原　京子
荏原4丁目	池田　美貴子
中原共和	青木　富代

街角ウォッチング

スマイル宣言　キラりんと共に…

学校の屋上にふと目をやると、可愛い横断幕が見えました。「きらり！うしろじスマイル宣言　笑顔とあいさつ後地小」の文字と星のようなキャラクターが…。後地小学校　石出校長先生にお話を伺いました。

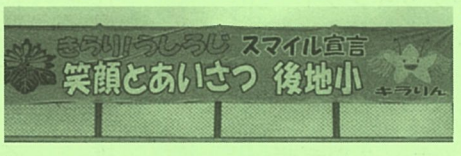
≪このキャラクターは「キラりん」という名前です。

後地小学校では、いじめ根絶のために「笑顔とあいさつ　後地スマイル宣言」を作りました。その後、この宣言にふさわしいキャラクターを作ろうということになり、多くの児童が考えた中から選ばれたのが、この「キラりん」です。

笑顔とあいさつで、みんなが星のように輝き、はばたくことを願っています。そして、大切なのは頭にあるアンテナです。周りの様子、友達の気持ちをしっかりと受け止めて、自分だけでなく、人の事も考えられるようになろうという願いが込められています。

後地小では、「キラりん」をシンボルキャラクターとして、笑顔とあいさつでみんなが仲の良い学校を目指し、「あいさつ運動」に取り組んでいます。この運動を校内だけでなく地域の皆さんにも広めていこうと、屋上に横断幕を掲げたのです。≫

あいさつは言葉の握手(金の星社「あいさつ」より)とか、元気なあいさつが交じわされる町でありたいですね。



(小山1丁目町会
河原　マサ江)

◎各ご家庭に配布しております。１部ずつお取り下さい。 次号『まちかど』は、１０月２０日(木)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。　http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/
古紙を配合した紙を使用しています